

2024年 春夏公開講座 シラバス

1005 語り合う認知症：家族介護者の気持ちに寄り添うには

科目分野	3. 人間・社会（歴史・文学・政治・経済等）
昼夜	昼
講義／実習	演習
講座開始日	5/11
講座最終日	5/11
講座実施回数	1回
講座の形態（対面、オンラインなどの別）	1.対面
曜日	土
時間数	180分
時間帯	13:00 ～ 16:00
担当教員	鈴木 尚子・岡 里美
担当教員について （所属・職名・自己PR等）	鈴木 尚子（人と地域共創センター准教授、専門：社会教育、生涯学習）、岡 里美（徳島市国際交流協会会員）
講座の目的	認知症の人の家族介護者は、その他疾病の方の家族介護者よりも、心身共に負担が大きいとされています。しかし現状においては、多くの場合、認知症本人へのケアが重視される一方、家族介護者への支援は十分に配慮されているとは言えない状況にあります。この講座では、介護をめぐる国内外の現状を幅広くとらえながら、家族介護者の支援には何が求められるのか、家族介護の経験者同士で話し合い、自分たちの生活を守るために何が必要か、また地域に何が期待できるのか、既存の福祉サービス以外の視点から考えます。
講座の概要	統計等を通じ、介護や高齢化全般に関する話題を提供するとともに、家族介護者支援の先進的事例や当事者による想いなどにも焦点を当てながら紹介していきます。また、皆様からの発言も重視し、対話をもとに後半は進めていきたいと思っています。
キーワード	認知症、家族介護者、支援
到達目標	家族介護者の人に焦点を当て、その人自身の生活や人生を支えるために、何が必要かを当事者同士で話し合う。
講座の計画	最初の90分は、介護をめぐる現状について、国内外の状況や先進的事例、当事者の気持ち等をご紹介します。次の90分では、それぞれが思いを語り、何が必要となるのかを意見交換していきます。
テキスト	なし
修了証書発行基準	
受講者へのメッセージ	認知症の人を介護する家族介護者を主たる対象としていますが、それ以外の疾病の方の介護者、介護されていない方も、ご関心のある方は遠慮なくご参加ください。
備考	